

二井坂

二井坂区のため NO.7
発行責任者 区長 井上 桂
発行年月日 令和5年10月8日
会員数 523世帯

令和5年度 敬老事業を実施しました

○敬老会実施日 令和5年9月18日 11:00～13:30 参加者40名
○敬老の記念品（お菓子）引渡日 令和5年9月18日 配布数83

令和5年度敬老事業を実施しました。70歳以上の会員に希望を募り、敬老会に参加するか、記念品（お菓子）を受け取るか申し込んでいただきました。この企画は、コロナ禍の中で、集まる形での敬老会を実施出来ず、記念品（お菓子）を配ったところ大変好評だったことから、このような形を取ったわけです。より多くの方が敬老事業に参加して欲しいとの考えです。

今年の暑さは例年より厳しく、当日会場には役員等も含めて50名以上が入っていましたので、団扇を用意してパタパタと仰ぎながらの参加となりました。

まず、井上自治会長が腹話術のケンちゃんと一緒に軽妙なあいさつ、続いて内野淳寿会会長の挨拶、そして天野道介さんの乾杯で会食が始まりました。

例年より、全体を簡素化して、料理や飲み物の量を少なくし、開催時間も2時間半と短くしました。参加者の体力、役員の負担も考慮した上での判断でした。

アトラクションも行いました。まず、井上自治会長による、レクリエーションゲーム。ジャンケンや脳トレを、チーム戦で行い得点によって景品が渡されました。皆さん楽しそうに参加され、盛り上がりのある時間となりました。



続いて、永年の成果を披露された舞踊と詩吟。舞踊は柳川三重子さん、関根美恵子さん、詩吟は、内野敏彦さん、原啓祐さん、岡本福寿さん、内藤艶子さん。4年ぶりの出演でした。

最後は、二井坂自治会員でもある、シンガーソングライターのみらいあいこさんによるギターの弾き歌い。ご自身の曲を2曲「ネコになりたい」「紅色花火」を披露され、「幸せなら手をたたこう」「ふるさと」は全員で合唱しました。

久しぶりの集いとなった敬老会でしたが、皆さんとてもお元気で、おおきな声を出してジャンケンしたり、楽しく歌ったりと有意義な時間になったと感じました。

どうぞお元気で、来年も再会しましょう。



自主防災訓練・講座実施報告 2報

- ・日 時 令和5年9月3日（日）8時～9時30分
- ・会 場 二井坂児童館
- ・内 容 （1）災害時安否確認訓練
（2）体験講座（在宅避難のための日頃の備え）

今年度より、防災指導員、民生児童委員、隣組長会長、消防団部長と自治会役員三役で自主防災推進委員会を組織しました。自治会役員は原則2年交代なので、活動の継続性に課題がありました。そこで、組織的継続的に自主防災活動ができるように、これらの役職（任期が2年以上）の方々をお願いしました。 ※隣組長会長は、任期1年。

- 1 安否確認訓練「ピンクのたすき」掲出結果
 - ・69組の隣組のうち61の隣組長さんが協力された。
 - ・掲出いただいた総軒数は311軒で68.5%の掲出率だった。
- 2 アンケート（当日実施）の集計結果（44名の提出）
 - ①ピンクのたすきを出した 44名
 - ②ピンクのたすきは良い方法である 41名 課題がある4名
 - ・自治会員に入っていない家庭への対応はどうするのか。
 - ・病気や歩行困難で「ピンクのたすき」を外に出せないかたもいる。
 - ③安否確認訓練 年2回実施して欲しい29名 年1回で良い15名
 - ・役員は大変だろうが、習慣づけることは必要だと思う。
 - ④在宅避難のための日頃の備えの展示
 - 参考になった38名 取り組んでみたい6名
- 3 第4回自主防災推進委員会が出た意見から（令和5年10月1日開催）
 - ①防災無線
 - ・防災無線が聞こえにくいとの意見が出ていたが、改善するには技術的に難しい点が多い。音声で伝えることに限界があるので、音（サイレン）での連絡も考えていきたい。また、個別受信機の設置、スマホの利用等、他の方法を取り入れることも必要ではないか。
 - ②隣組のあり方
 - ・新しい会員が多い隣組では、組内相互での関わり方を工夫する必要がある。今後、災害時安否確認訓練を行っていく上でも大切である。
 - ・日頃の挨拶、自治会行事等を通しての交流を行うことで顔見知りになることが、自主防災を高めることに繋がってくると考えている。
 - ③当日の運営
 - ・災害時安否確認訓練、在宅避難のための日頃の備えと、目的を絞って訓練したことは良かった。
 - ・あいかわ町災害ボランティアネットワークや消防団員の協力を得て、延べ300人以上の参加があった。事前の啓発も出来ていたのではないかな。
 - ・自家用車での来場者があったが、災害時での対応は難しい。しかし、車でないと来られない方もいるので、事前の配慮、準備等受け入れ体制を取っておく必要がある。
 - ・災害が実際に発生した時には、避難所の児童館は相当混乱するであろう。全体を見通す監理者、スムーズな流れを作る受付等、工夫すべき点が多くある。
 - ④来年度に向けて
 - ・来年度、愛川町としては「中津小学校避難所訓練」を計画している。二井坂区自治会としては、「ピンクのたすき」を使った安否確認訓練を、ごみゼロキャンペーン（5月）、「中津小学校避難所訓練」（9月）に合わせて行いたいと考えている。
 - ・「ピンクのたすき」を使った安否確認訓練の際、掲出されていない家庭には声かけをして、所在確認、安否確認まで行っていきたい。

区民文化展作品募集中

- ・日時 令和5年11月19日（日）10時～15時
 - ・会場 二井坂児童館
- ※既に全戸配布しました、申込書をお願いします。

